

教育目標ふるさとゆうばりに誇りをもちひとみ輝く子どもの育成
校訓(知)かしこく(徳)なかよく(体)たくましく



ゆう小だより

夕張市立ゆうばり小学校
学校便り 第7号
令和6年9月27日 発行
TEL 0123-59-7328
FAX 0123-59-5497

～最上位目標は主体性と当事者意識～ 校長 有村宏紀

この題は、先日聴いた講演会のサブテーマです。講師は、元麴町中学校長であった、**工藤勇一氏**です。ご存じの方もいると思いますが、あの学校の「当たり前」をやめ、公立中学校を改革に導いた方です。内容はとても刺激的なものでした。「不登校30万人・いじめ問題・自死・教員の過重労働問題」は、すべて日本（韓国・中国の一部も）特有の問題だと言います。その背景は、日本の教育が勘違いしてきたことにあると言います。何より大切にすべきは『主体性と当事者意識』なのに、日本の教育は「与え続ける教育」に終始してきた。その結果、主体性・当事者意識を奪い、幸福度の低い・自己肯定感の低い子どもを作ってしまったというのです。

主体性は自主性とは違います。**主体性は自らの意志や判断に基づいて、自らの責任のもとで行動すること**を言います。一方で、自主性は、ある程度決められていることを自ら率先して行う態度や性質のことを指します。やるべきことを**決定するのが自分であるか、他者であるかが両者の明確な違い**です。生まれたての赤ちゃんは主体性の塊です。もちろん言葉こそ発しませんが、お腹がすいたら泣き、オムツが汚れたら泣いて知らせます。人間は生まれた時から主体性が身に付いているのです。しかし、大人が良かれと思って手をかければかけるほど、子どもの主体性を奪ってしまうのです。そればかりではなく、子どもは自律（自分が決めたルールで自らの行動をコントロールする事）ができなくなり、自分がうまくいかないことを他人のせいにするようになると工藤氏は言います。

では、主体性を育て、自律する力を育てるにはどうすればよいのでしょうか？ **ポイントは「心理的安全性」と「自己決定」**です。失敗が許される環境づくり（心理的安全性）をして自己決定させること。これを繰り返すことによって、**環境に強い脳（メタ認知能力）を育て**、自分をコントロールする力を育てることが重要だそうです。

自己決定をして自分で判断するようになると、物事は「自分事化」します。つまり当事者意識も必然的に高まってくるのです。当事者意識の高い子どもは、自分の力で幸せに生きていく力をつけていくものです。

私たち大人は、子どもの自律を促す自己決定をどれくらいさせているのでしょうか・・・。

友と過ごした最高の二日間「修学旅行」

8月28日（水）から1泊2日で6年生が修学旅行へ行ってきました。行程は室蘭で北日本製鉄所の工場見学→北黄金貝塚公園→洞爺・火山科学館→ルスツという流れでした。天候も心配されましたが、2日間とも天候に恵まれ、子どもたちは小学校最大のイベントを楽しみました。

炭鉄港の関係から、事前に石炭博物館の石川館長さんの出前授業を受けており、夕張と室蘭のつながりについて学んでいました。室蘭まで運ばれていた夕張の石炭は、熱量が高く製鉄に適しているとのことでした。次は世界遺産でもある北黄金貝塚公園に行き、「勾玉づくり」の体験をしながら縄文文化に触れてきました。宿泊場所である洞爺サンパレスリゾート&スパでは、夕飯のおいしいバイキング、湖面に映える花火に感動し、なんといっても友達と過ごすホテルでの一夜。一生の思い出となったことでしょう。2日目は、火山科学館で自然の驚異に触れ、ルスツで思いっきり楽しみました。この2日間でさらに絆が深まった6年生でした。



令和6年度 学校評価アンケート7月期【結果概要】

7月に実施した学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。ご家庭には、詳細な結果を冊子にして配付しておりますが、概要をお知らせいたします。

保護者アンケートの回収率は79.6%と低めでありました。総体的に、児童、保護者、教職員ともに肯定的な評価結果となっています。中には答えづらい設問もあったかもしれませんが、今後もお子さんに確認するなどして回答をお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

三者（児童・保護者・教職員）比較のできる設問のみ分析・考察を記載します。

【学校運営面について】

比較 1（児童設問1・保護者設問3・教職員設問3）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	学校は楽しいですか。	66.7%	25.8%	7.5%	0.0%	児童	92.5%
保）	学校は、質の高い教育の実現に向け、魅力ある教育活動が工夫・展開されている。	51.3%	43.4%	3.9%	1.3%	保護者	94.7%
教）	質の高い教育の実現に向け、魅力ある教育活動が工夫・展開されている。	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

昨年度の7月期と比較すると児童の肯定的評価が4.7Pt減っています。特にA評価が7.4Pt減っていることや保護者のD評価が大きな課題です。

【生きる力を育む教育の推進について】

比較 2（児童設問2・保護者設問4・教職員設問4）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	学校の勉強は、よくわかりますか。	51.2%	42.1%	5.8%	0.8%	児童	93.4%
保）	学校は、確かな学力の定着に向けて、分かりやすい授業になるように工夫している。	55.3%	40.8%	3.9%	0.0%	保護者	96.1%
教）	確かな学力の定着に向けて、分かりやすい授業になるように工夫している。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

児童のA評価は昨年より23Ptも減っています。三者ともA評価が5割を超えていることは評価に値します。今後も継続して「わかる・できる・楽しい」学びを追求します。

比較 3（児童設問3・保護者設問5・教職員設問5）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	授業中は、自分からすすんで取り組んでいますか。	47.9%	38.0%	13.2%	0.8%	児童	86.0%
保）	学校は、主体的な学びになるように、探究的・協働的な学びに取り組んでいる。	61.8%	31.6%	6.6%	0.0%	保護者	93.4%
教）	主体的・対話的で深い学びとなるように、探究的・協働的な学びに取り組んでいる。	27.8%	72.2%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

新しい設問です。児童の14%は主体的に学びに向かえていない結果を重く受けてとめます。また、教師のA評価も極めて低い結果となっている点が課題です。

比較 4（児童設問4・保護者設問6・教職員設問6）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	学校は、わからないことやできないことを丁寧に教えてくれますか。	68.6%	24.0%	5.8%	1.7%	児童	92.6%
保）	学校は、学習支援員の配置や個に応じた指導、補充学習など、きめ細やかな学習支援に努めている。	64.5%	30.3%	3.9%	1.3%	保護者	94.7%
教）	学習支援員の配置や個に応じた指導、補充学習など、きめ細やかな学習支援を行っている。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

三者とも肯定的評価は90%超であり、三者に大きな差はありません。また、A評価も60%超と高い評価を得ていると判断できます。全設問の中で一番良い結果です。

【豊かな心を育む教育の推進について】

比較 5（児童設問5・保護者設問7・教職員設問7）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	学校は、一人一人を大切にし、話や悩みを聞いてくれますか。	67.8%	24.0%	5.8%	1.7%	児童	91.7%
保）	学校は、子どもたちの悩みや問題に対して、組織的・適切に対応している。	46.1%	46.1%	6.6%	1.3%	保護者	92.1%
教）	共感的児童理解のもと、一人一人の思いに寄り添い、組織的・適切に指導をしている。	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

心理的安全性の高い教育を目指す本校にとって、重要な設問です。結果は三者とも肯定的評価が高いものの、保護者のA評価が過半数を割っていることは課題です。

比較 6（児童設問6・保護者設問8・教職員設問8）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	友だちと仲良くしたり、相手のことを思いやったりしていますか。	75.2%	23.1%	0.8%	0.8%	児童	98.3%
保）	学校は、異年齢活動や絆づくりなど、親和的で、心理的安全性の高い集団づくりに努めている。	60.5%	32.9%	6.6%	0.0%	保護者	93.4%
教）	心理的安全性の高い教育に向けて、親和的でまとまりのある、温かな集団を育成している。	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

教職員のA評価の低さが課題です。教職員にとって、この設問は教育の土台となる児童を取り巻く環境整備を問うものであり、A評価を目指すべきものです。

【粘り強い心身を育てる教育について】

比較 7（児童設問7・保護者設問10・教職員設問10）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	体育以外でもすすんで運動（体を動かすこと）をしていますか。（休み時間など）	63.3%	25.8%	6.7%	4.2%	児童	89.2%
保）	学校は、チャレンジ環境を整え、日常的に体力・運動能力を向上させる工夫をしている。	50.0%	39.5%	10.5%	0.0%	保護者	89.5%
教）	チャレンジ環境を整え、日常的に体力・運動能力を向上させる工夫をしている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

保護者のC評価が他の設問より高いことに課題がみられます。体育の時間以外にも、楽しくかつ目標をもって体力づくりができる工夫を凝らしていきます。

比較 8（児童設問8・保護者設問11・教職員設問11）		A	B	C	D	肯定的評価	
児）	あきらめないで、最後までがんばっていますか。	62.5%	31.7%	4.2%	1.7%	児童	94.2%
保）	学校は、がんばったことを認める声掛けをし、あきらめない心を育んでいる。	59.2%	36.8%	3.9%	0.0%	保護者	96.1%
教）	日常的な指導の場面で、あきらめずに最後まで取り組む態度の育成に努めている。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	教職員	100.0%

保護者のA評価が21Ptも増加しています。頑張った過程を褒めることは、自己肯定感を高めます。適宜適切に児童の努力をフィードバックすることが必要です。

一日防災教室開催！



1年生



2年生



3年生

9月4日（水）に「一日防災教室」が実施されました。日本は災害大国といわれるほど、外国に比べて自然災害が発生しやすい国土だそうです。内閣府のHPによると、『世界全体に占める日本の災害発生割合は、マグニチュード6以上の地震回数20.8%、活火山数7.0%、死者数0.4%、災害被害額18.3%など、世界の0.25%の国土面積に比して、非常に高くなっている』とされています。

☆1・2年生は「防災かるた」を体育館で行い、ゲーム的要素を取り入れて楽しく学びました。

☆3年生は「防災スリッパ」を作る学習をしました。夕張市消防本部の方々の協力で実施しました。

☆4年生は、日頃からの備えなどについて考え、防災食（カレー）の試食体験をしました。

☆5年生はAEDによる「救命救急講習」を実施しました。救命士の方に丁寧に指導いただきました。

☆6年生は「段ボールベッド」体験から避難所運営の一端を学びました。

夕張市消防本部の皆さま、
ご協力ありがとうございました！



4年生



5年生



6年生

第1回にここ交流会

1年生と丘の上こども園、沼ノ沢・こじか保育園の年長さんとの交流会が実施されました。この交流会は年に2回ほど行っています。「小1プロブレム」の解消を目的



とするだけでなく、幼児教育と初等教育を滑らかに、スムーズに接続する意味合いも強くあります。いわゆる5歳から7歳までの子どもの育ちを支援するという「架け橋期のカリキュラム」づくりにもつながっていきます。夕張の子どもたちの健やかな成長を支えるものです。



草の根教育実習

今年度、「草の根教育実習」で北海道教育大学旭川校2年生の金澤颯（はやて）さんを実習生として受けいれました。4日(水)～6日(金)の3日間だけでしたが、1年生をメインに、授業の補助や教育活動のお手伝いをしていただきました。この草の根教育実習を機会に、教職への思いを強くしてほしいと思います。将来、北海道の先生となって、子どもたちのために尽力してほしいと願っています。20日の地域参観日にも来校し、夕張を気に入ってもらえたようです。

ガンバレ！颯先生！



6年生 ～中学校校舎を利用した授業～

9月12日（木）に、今年度1回目の6年生の中学校登校が行われました。今回は、「小中一貫NEWS NO.3」にも詳しく載っていますが、中学校教師による体験授業が行われました。一つは種市竜太教諭による理科の授業で、圧力（気圧）に関する実験も取り入れながら科学の世界を学びました。もう一つは伊香あすか教諭による美術の授業です。鉛筆を使って色々な描き方をしたり、デッサンの基礎である陰影のつけ方などを学んだりしたようです。両授業とも、中学校と同じく50分間で行いました。



後期児童会役員

9月18日（水）に行われた児童会役員選挙の結果、後期児童会三役が次のとおり決まりました。立候補者の演説や選挙管理委員の進行の全てが真剣な表情で行われ、ゆうばり小学校の代表を選ぶにふさわしい立会演説会でした。放送を使つての事前の責任者応援演説も立派でした。

<書記局>

児童会会長	渡 邊 陽 香（6年）
児童会副会長	佐 々 木 愛 斗（6年）
児童会副会長	佐 藤 ユ リ ア（5年）
児童会書記	南 穂 乃 花（5年）
児童会書記	伊 並 結 愛（4年）





1年生



2年生



3年生

9月20日（金）に「地域参観日」を実施しました。今年も丸一日の全授業を公開としました。

また、この日に各種出前授業を要請し、親子・地域の方々とともに学び合うことができる一日にしたいとも思っています。

写真は、1年生が音楽の授業風景で鍵盤ハーモニカを吹いている所です。2年生は、人権教室、3年生はカルビーさんによる食育の授業です。人権教室とネットモラル教室は全学年において実施することにしています。

地域参観日

4年生は算数専科の櫻田教諭による授業を公開。5年生は、社会科でトヨタの工場見学をオンラインで実施しました。6年生は夕張市の保健師さんによる「がん教育」を行い、健康についての学習をしました。

この他にも、明治さんによる食育を1・2年生合同で受けたり、今年度はじめての「SOSの出し方教室」を5年生の保健で学びました。

多数の保護者の皆様や地域の方々に来校いただきありがとうございました。活気がある一日となりました！



4年生



5年生



6年生

今年もバードハウス作り

今年もNEXCO 東日本さんとフェザードフレンドさんのご協力により、4年生がバードハウス作りを行いました。材料もすべて準備いただき、作り方のレクチャーも手慣れたものです。子ども達は、カラフルでかわいらしい巣箱に仕上げていました。25日（水）には、由仁のPAに巣箱を設置に行きました。鳥さんたちのお気に入りになってくれるといいですね！



こども農園 ほったよ！サツマイモ

9月26日（木）にホクユウバックさんの「こども農園」へサツマイモの収穫体験に行きました。春に植えたサツマイモの収穫です。土を掘り進めていくうちに、腫がどンドン輝きを増し、大きなサツマイモを掘り当てると笑顔満開でした。立派なサツマイモがたくさん収穫できました。



芸術の秋 鑑賞教室 実施！

9月3日（火）に鑑賞教室が行われました。今年度は人形劇団ポポロさんによる「ばけものづかい」という人形劇でした。



人形劇といっても、実際の人形より大きな人形も出てきて、低学年は大喜びでした。

来年も楽しみです。

9月13日（金）1・2年公共交通体験実施

昨年に引き続き、中央バスさんによる公共交通体験が1・2年生を対象に行われました。

はじめて路線バスの車内に乗った児童もいましたが、整理券の取り方や乗降の仕方、車内でのルールやマナーについてしっかりと学ぶことができました。



10月のよてい

- 1日（火） こども農園予備日
- 2日（水） 読み聞かせ 2年見学旅行
- 3日（木） 委員会① 夕張市長学校視察3h 研修⑦
- 4日（金） 前期終業式 定時退勤
- 7日（月） 後期始業式・認証式 特別日課開始
- 8日（火） バス委員会②
- 9日（水） 読み聞かせ オレンジフェスティバル演目説明会 SC来校 オンライン英会話4・5年 3年石田鉄工見学
- 10日（木） 代表委員会②
- 14日（月） スポーツの日
- 16日（水） オレンジフェスティバル児童公開日 第2回学校運営協議会
- 17日（木） オレンジフェスティバル実行委員会6h
- 18日（金） 前日準備
- 19日（土） オレンジフェスティバル（学習発表会）一般公開日
北海道PTA連合会千歳大会～20日（日）
- 21日（月） 振替休業
- 22日（火） 後片付け5年
- 23日（水） 読み聞かせ オンライン英会話4・5・6年 英検ESG
- 24日（木） クラブ④ 校内支援委員会 CSクリーンDay
- 26日（土） 夕張市音楽発表会（1・3・5年参加）
- 28日（月） 1・3・5年振替休業
- 29日（火） 研修⑧ 定時退勤日
- 30日（水） 読み聞かせ 児童総会（認証式）
- 31日（木） 委員会② 安全点検日

